

6月の天候

2022年（令和4年）6月の特徴：

○東・西日本の気温はかなり高く、下旬は記録的な高温となった

月の前半はオホーツク海高気圧の影響などで冷たい空気が流れ込み、全国的に気温が平年を下回ったが、月の後半は太平洋高気圧が強まり暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温は東・西日本でかなり高かった。特に下旬は東・西日本で記録的な高温となった。

○西日本太平洋側の降水量はかなり少なく、東日本日本海側と西日本太平洋側の日照時間はかなり多かった

本州付近は低気圧や梅雨前線の影響を受けにくかったため、西日本太平洋側の月降水量はかなり少なく、東日本日本海側と西日本太平洋側の月間日照時間はかなり多かった。下旬には太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線が北上したため、東・西日本の各地と東北南部では記録的に早く梅雨明けしたとみられる（速報値）。

○北日本日本海側と北日本太平洋側の降水量はかなり多く、沖縄・奄美の降水量は多かった

気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすかったため、北日本日本海側と北日本太平洋側の月降水量はかなり多かった。また、梅雨前線が沖縄付近に停滞することが多かったため、沖縄・奄美の月降水量は多かった。

1 概況

上旬から中旬にかけて、北・東日本では、低気圧や気圧の谷、オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。太平洋高気圧の張り出しが弱く、梅雨前線は沖縄付近に停滞することが多かったため、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。西日本は、梅雨前線や前線上を東進した低気圧の影響を受けた時期があり、曇りや雨の日があったが、日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあった。東・西日本では、まとまった降水とならなかった所が多かった。下旬は、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線が北日本まで北上した。このため、北日本は梅雨前線や低気圧の影響を受けて曇りや雨の日が多く、大雨となった所があった。一方、東・西日本と沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。東・西日本の各地と東北南部では記録的に早く梅雨明けしたとみられる（速報値）。月降水量は、北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった一方、西日本太平洋側でかなり少なく、月間日照時間は東日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多かった。気温は、月の前半は冷たい空気が流れ込みやすかったため、全国的に平年を下回ったが、月の後半は太平洋高気圧が強まり、全国的に暖かい空気が流れ込みやすく、高気圧に覆われて晴れた東・西日本を中心に平年を上回った。月平均気温は東・西日本でかなり高く、特に下旬は東・西日本で記録的な高温となり、地点で見ると、全国の914の観測地点のうち、12地点で通年の日最高気温の高い方からの1位の値を記録（タイを含む）し、338地点で6月の日最高気温の高い方からの1位の値を記録（タイを含む）した。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。金沢（石川県）、富山（富山県）、松江（島根県）、境、米子（以上、鳥取県）など9地点では月平均気温の高い方からの1位を更新し、鳥取（鳥取県）、浜田（島根県）、彦根（滋賀県）、平戸（長崎県）の4地点では月平均気温の高い方からの1位タイの値を記録した。北日本では平年並だった。

(2) 降水量

北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美が多かった。旭川、江差（以上、北海道）の2地点では月降水量の多い方からの1位を更新した。一方、西日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。

(3) 日照時間

北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側が多かった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

(4) 地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況

1位の値を更新した地方はなかった。

地域平均平年差（比）と階級（2022年6月）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.3 (○)	153 (+)* 日 160 (+)* 太 147 (+)*	93 (-) 日 92 (○) 太 95 (-)	北海道	0.0 (○)	179 (+)* 日 178 (+)* オ 175 (+)* 太 181 (+)*	89 (-) 日 96 (○) オ 58 (-)* 太 97 (○)
東日本	1.0 (+)*	72 (-)* 日 63 (-) 太 75 (-)	125 (+)* 日 128 (+)* 太 125 (+)	東北	0.6 (+)	120 (○) 日 140 (+) 太 106 (○)	98 (○) 日 90 (-) 太 104 (○)
西日本	1.0 (+)*	61 (-)* 日 60 (-) 太 63 (-)*	128 (+) 日 129 (+) 太 128 (+)*	関東甲信	0.9 (+)*	69 (-)	124 (+)
沖縄・奄美	0.2 (+)	120 (+)	94 (○)	北陸	1.5 (+)*	63 (-)	128 (+)*
				東海	0.9 (+)*	82 (-)	126 (+)*
				近畿	1.1 (+)*	57 (-)* 日 60 (-) 太 56 (-)	131 (+)* 日 136 (+)* 太 129 (+)*
				中国	1.4 (+)*	49 (-)* 陰 47 (-) 陽 51 (-)*	127 (+)* 陰 131 (+)* 陽 123 (+)
				四国	0.8 (+)*	57 (-)*	124 (+)
				九州北部	1.1 (+)*	64 (-)	127 (+)
				九州南部 ・奄美	0.5 (+) 本 0.6 (+) 奄 0.0 (○)	86 (○) 本 81 (-) 奄 108 (○)	126 (+)* 本 133 (+)* 奄 93 (○)
				沖縄	0.3 (+)	124 (+)	94 (○)

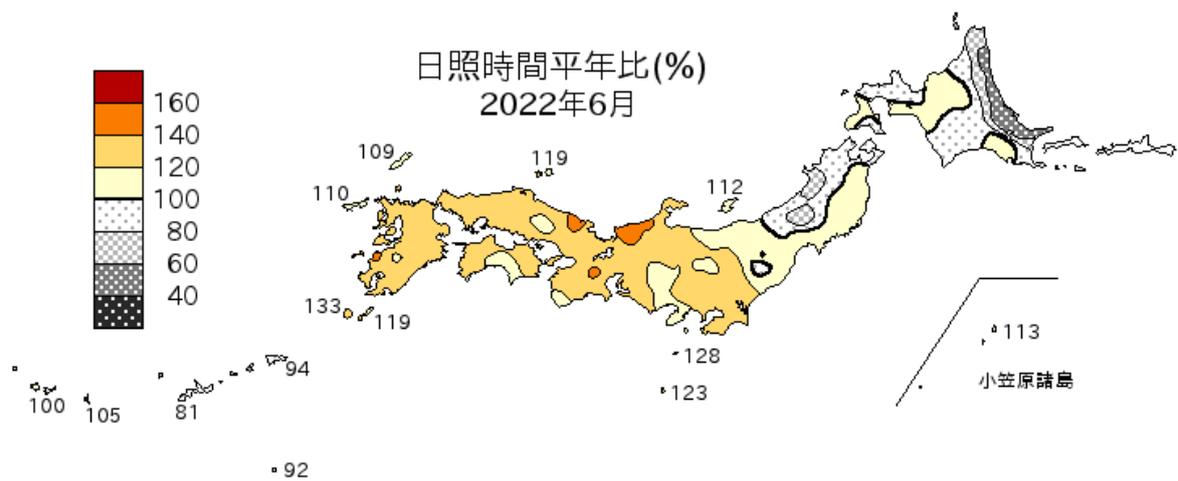
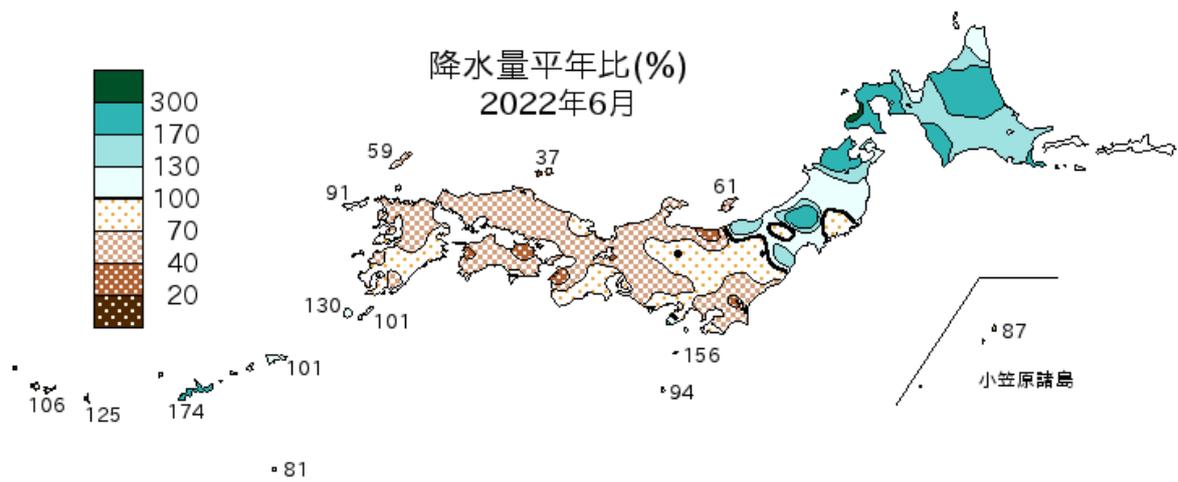
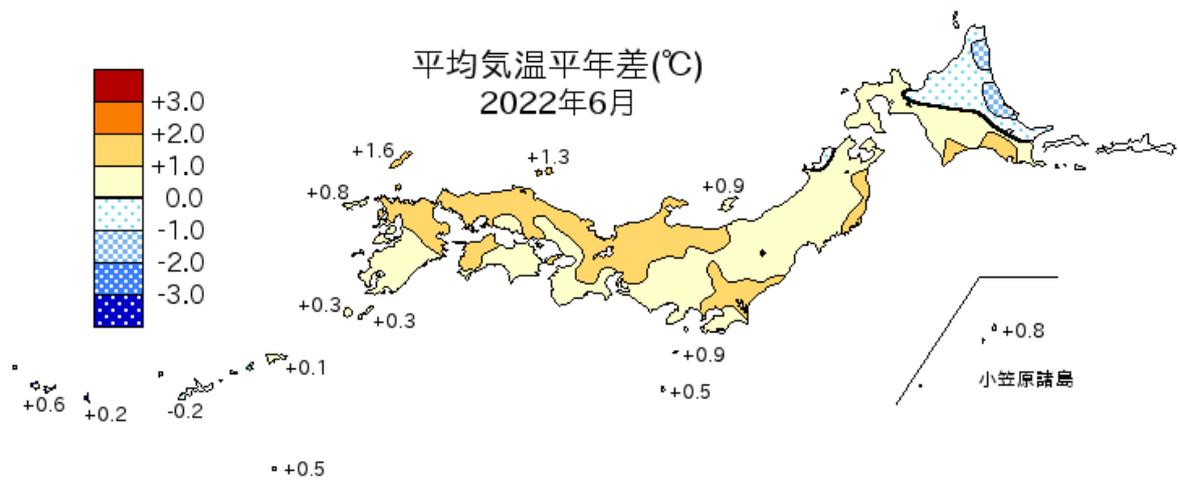
階級表示 -:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間・降雪量の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2022年6月）



3 旬別の天候経過

上旬：北日本では、低気圧や気圧の谷、オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったため、旬平均気温はかなり低かった。東・西日本では、旬のはじめは高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、関東地方を中心に大気の状態が不安定となった日があり、各地でひょうの被害が相次いだ。旬の中頃は低気圧や前線の通過によりまとまった降水となったが、旬の終わりは西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった一方、東日本太平洋側では気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく曇りや雨となった所があった。このため、旬間日照時間は西日本太平洋側でかなり多かった。また、関東甲信地方は6日ごろに梅雨入りしたとみられる。気温は、期間の後半を中心に冷涼な空気の影響を受けやすく平年を下回った。沖縄・奄美では、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多く、旬間日照時間はかなり少なかった。気温は、旬の前半は暖かい空気が流れ込み平年を上回ったが、旬の後半は冷涼な空気の影響を受けやすく平年を下回った。

旬平均気温は、北日本でかなり低く、東日本で低かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東・西日本日本海側、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美が多かった。西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側が多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。北・東日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

中旬：北日本では、天気は数日の周期で変化した。東・西日本と沖縄・奄美では、東シナ海から本州南岸付近に停滞した梅雨前線や前線上を東進した低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったが、東・西日本ではまとまった降水とならなかった所が多く、日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあった。九州南部、九州北部地方では11日ごろ、四国地方では13日ごろ、中国地方、近畿地方、東海地方、北陸地方では14日ごろ、東北南部、東北北部では15日ごろに梅雨入りしたとみられる。一方、沖縄地方では、旬の終わりに太平洋高気圧に覆われて晴れた所が多くなり、20日ごろに梅雨明けしたとみられる。気温は、北・東・西日本では旬の前半は冷涼な空気の影響で平年を下回る日が多かったが、旬の後半は暖かい空気が流れ込み平年を上回る日が多かった。沖縄・奄美では旬のはじめと終わりを中心に暖かい空気が流れ込み平年を上回る日があった。

旬平均気温は、全国で平年並だった。

旬降水量は、東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美が多かった。北日本日本海側と北日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側で少なかった。北・東・西日本日本海側、北日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：旬のはじめは梅雨前線が本州付近に北上し、東・西日本を中心に曇りや雨となった。一方、奄美地方では太平洋高気圧に覆われて晴れた所が多くなり、22日ごろに梅雨明けしたとみられる。24日から25日にかけては前線を伴った低気圧が北日本を通過し、北日本から西日本で雨となった。その後、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線は北日本まで北上した。このため、北日本では低気圧や梅雨前線の影響を受けて曇りや雨となり、大雨となった所があった。一方、東・西日本と沖縄・奄美を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れの日が続いた。九州南部、東海、関東甲信は27日ごろ、九州北部、四国、中国、近畿、北陸は28日ごろ、東北南部は29日ごろに梅雨明けしたとみられ、1951年以降で最も早い記録となった地方が多

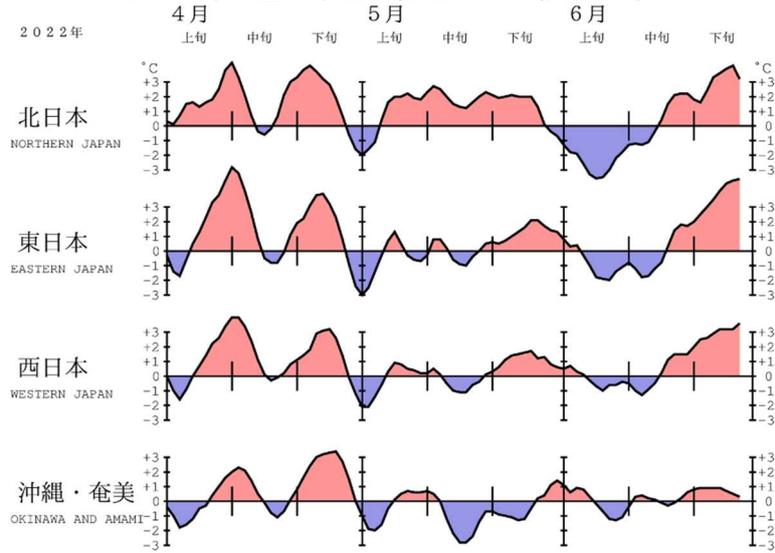
かった（速報値）。高気圧に覆われやすかったため、旬間日照時間は、東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側の旬間日照時間は平年比 207%で、1946 年の統計開始以降、6 月下旬として 1 位の多照となった。また、旬降水量は西日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。一方、北日本は低気圧や前線の影響で大雨となった所があり、旬降水量は北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側の旬降水量は平年比 317%で、1946 年の統計開始以降、6 月下旬として 1 位の多雨となった。暖かい空気が流れ込みやすかったため、旬平均気温は北・東・西日本でかなり高く、平年差は東日本で+4.0℃、西日本で+3.2℃となり、それぞれ 1946 年の統計開始以降、6 月下旬として 1 位の高温となった。23 日以降は東・西日本を中心に猛暑日となった所があり、群馬県伊勢崎市で 25 日に日最高気温 40.2℃、29 日に 40.0℃を観測した。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

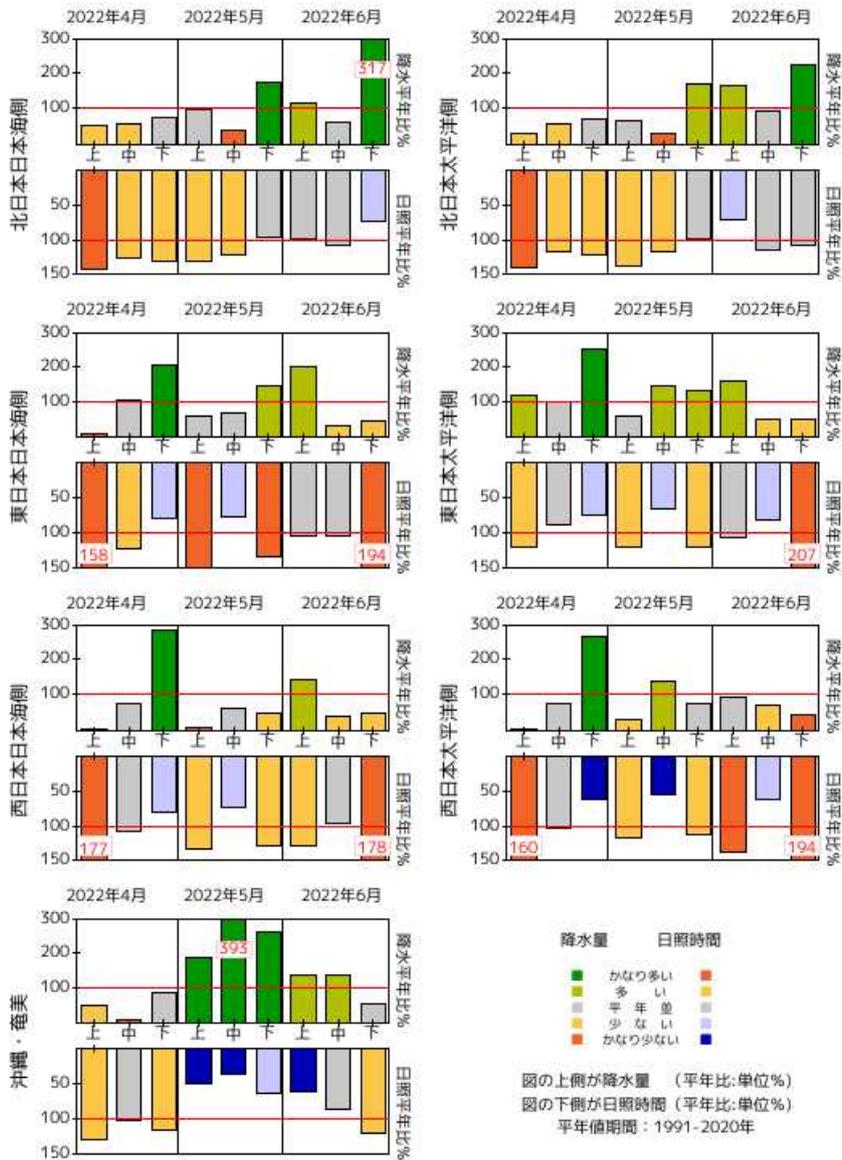
旬降水量は、北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった。一方、西日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

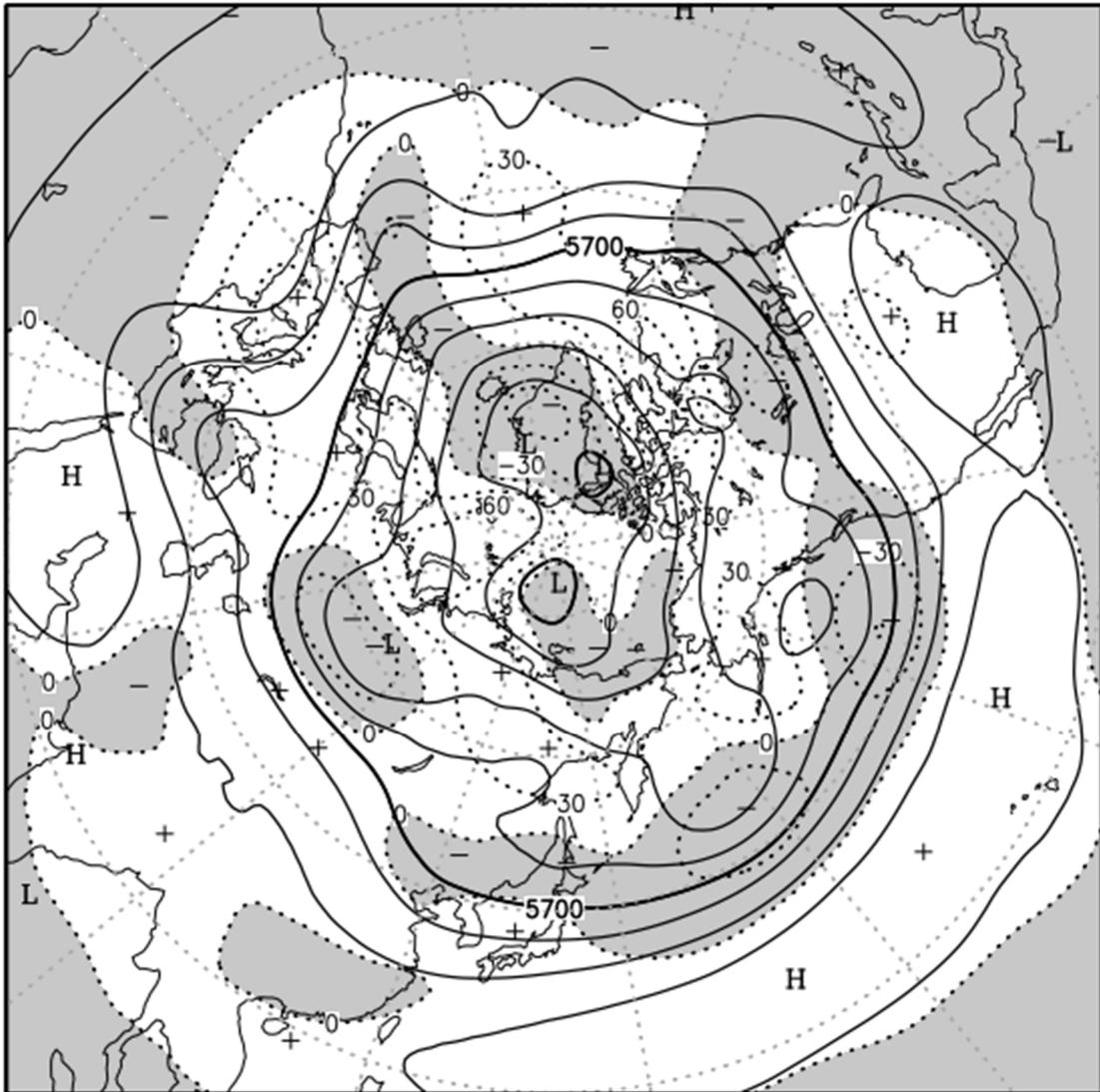


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：寒帯前線ジェット気流は東シベリア付近で北に蛇行し、ブロッキング高気圧を形成した。このため、月の前半はオホーツク海高気圧が強く、北・東日本を中心に冷たく湿った空気が流れ込みやすかった。日本付近の上空には寒気が入りやすかった。亜熱帯ジェット気流は、月の前半は日本付近で平年より南を流れ、沖縄・奄美から日本の南にかけて梅雨前線が停滞しやすかったが、月の後半は日本付近で平年より北を流れ、太平洋高気圧の北への張り出しが強まった。



2022年6月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差
（この図は6月1日～29日までのデータで作成しています。）

5 全国気候表 2022年6月

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	16.8	(-0.2) ○	71.0	(118) +	10	173.2	(96) ○
稚内	12.1	(-0.9) -	69.0	(105) ○	8	109.6	(71) -
北見枝幸	11.1	(-1.3) -	99.5	(121) +	14	81.7	(58) -*
旭川	16.8	(-0.2) ○	189.0	(265) +*	12	177.5	(101) ○
留萌	15.4	(0.0) ○	98.5	(175) +*	11	174.9	(101) ○
羽幌	15.4	(-0.1) ○	111.5	(164) +	11	172.5	(97) ○
岩見沢	16.3	(0.0) ○	108.0	(155) +	10	179.5	(103) ○
倶知安	15.6	(0.0) ○	113.5	(189) +*	11	159.0	(94) ○
小樽	16.1	(+0.1) ○	62.0	(112) +	8	168.3	(99) ○
寿都	15.6	(+0.2) ○	114.0	(188) +	9	160.1	(94) ○
網走	12.5	(-1.0) ○	104.5	(153) +	14	92.1	(53) -*
紋別	11.8	(-1.2) -	132.0	(189) +*	16	91.6	(59) -*
雄武	11.4	(-0.9) -	176.5	(236) +*	15	86.9	(60) -*
釧路	13.5	(+1.3) +	154.5	(135) +	10	135.3	(107) +
根室	11.3	(+0.4) ○	176.0	(171) +	13	107.8	(80) -
帯広	15.9	(+0.7) +	110.0	(136) +	13	129.5	(87) ○
広尾	14.4	(+1.7) +*	220.0	(147) +	13	107.2	(85) -
室蘭	15.1	(+0.7) +	206.5	(189) +*	10	176.9	(114) +
苫小牧	14.6	(+0.6) +	190.0	(170) +	11	133.8	(112) +
浦河	14.1	(+0.6) +	272.5	(284) +*	15	138.6	(96) ○
函館	16.6	(+0.4) ○	172.5	(216) +*	9	166.6	(97) ○
江差	16.4	(0.0) ○	244.0	(310) +*	12	165.9	(102) ○
青森	18.4	(+0.8) +	133.5	(178) +*	11	180.5	(100) ○
深浦	17.4	(-0.1) ○	186.5	(189) +*	14	152.9	(85) -
むつ	16.8	(+0.7) +	111.5	(117) +	10	161.1	(98) ○
八戸	17.8	(+1.1) +	134.0	(129) +	9	171.1	(102) ○
秋田	19.6	(0.0) ○	142.5	(116) +	12	140.1	(78) -
盛岡	19.1	(+0.3) ○	112.0	(102) ○	15	162.3	(101) ○
大船渡	18.9	(+1.0) +	124.5	(71) -	11	155.1	(102) ○
宮古	17.8	(+1.3) +	128.5	(104) ○	7	164.2	(108) ○
仙台	20.2	(+1.0) +	175.5	(122) +	9	162.3	(113) +
石巻	19.1	(+0.8) +	124.0	(112) +	9	171.0	(109) +
山形	21.0	(+0.7) +	88.0	(84) ○	9	162.7	(99) ○
新庄	19.5	(+0.2) ○	293.0	(233) +*	14	118.3	(75) -
酒田	20.4	(+0.4) +	119.0	(95) ○	12	154.2	(85) -
福島	21.0	(+0.3) ○	169.5	(140) +	10	147.6	(104) ○
若松	21.1	(+0.6) +	89.5	(82) ○	10	180.8	(109) +
白河	19.7	(+0.6) ○	138.5	(92) ○	13	126.7	(97) ○
小名浜	20.2	(+1.1) +	102.0	(68) -	10	160.6	(107) ○
水戸	21.8	(+1.5) +*	75.5	(56) -	8	169.6	(123) +
館野(つくば)	21.8	(+1.0) +	45.5	(35) -*	8	164.5	(127) +
宇都宮	22.2	(+1.0) +	83.5	(48) -*	9	145.0	(122) +
日光	14.7	(+0.7) +	205.5	(90) ○	15	134.7	(125) +
前橋	23.2	(+1.1) +	122.5	(83) ○	13	163.1	(118) +

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
熊谷	23.4	(+1.1) +*	105.5	(71) -	12	172.6	(129) +*
秩父	21.5	(+0.7) +	137.5	(95) ○	13	154.6	(126) +*
東京	23.0	(+1.1) +*	64.0	(38) -*	6	167.6	(135) +*
大島	21.9	(+0.9) +*	326.5	(99) ○	11	127.1	(102) ○
三宅島	22.7	(+0.9) +*	544.5	(156) +*	13	162.5	(128) +*
八丈島	21.8	(+0.5) +	365.5	(94) ○	13	107.1	(123) +
父島	27.0	(+0.8) +	97.0	(87) ○	7	231.3	(113) ○
千葉	22.8	(+0.9) +	88.0	(58) -	11	171.3	(135) +*
銚子	21.2	(+1.0) +	78.5	(47) -*	12	184.6	(130) +*
館山	22.3	(+0.8) +*	192.0	(91) ○	8	166.0	(123) +
勝浦	20.7	(-0.1) -	155.5	(70) -	9	160.3	(121) +*
横浜	22.9	(+1.1) +*	87.5	(46) -*	9	172.8	(127) +
長野	21.4	(+1.0) +*	78.5	(74) -	7	205.5	(123) +*
本松	21.3	(+1.1) +*	119.0	(104) ○	11	214.5	(129) +*
諏訪	20.1	(+0.8) +	130.0	(84) -	12	192.0	(119) +*
軽井沢	16.7	(+0.7) +	143.0	(92) ○	16	171.9	(119) +
飯田	21.5	(+0.9) +*	93.5	(49) -*	9	178.2	(114) +
甲府	23.2	(+0.9) +	55.5	(49) -*	9	180.5	(120) +
河口湖	18.5	(+0.7) +	121.0	(77) ○	9	156.9	(128) +*
静岡	23.1	(+0.7) +	208.5	(78) -	12	154.0	(113) +
浜松	23.1	(+0.5) +	122.5	(55) -*	10	188.9	(128) +*
御前崎	22.3	(+0.8) +*	293.0	(114) +	12	185.5	(125) +
三島	23.0	(+0.7) +	123.5	(58) -	13	144.0	(112) +
石廊崎	21.8	(+0.7) +*	321.0	(136) +	10	152.7	(108) +
網代	22.2	(+0.8) +	253.5	(101) ○	15	158.8	(124) +
名古屋	24.3	(+1.3) +*	117.5	(63) -	8	203.8	(134) +*
伊良湖	23.0	(+0.8) +*	146.5	(82) -	11	211.7	(136) +*
岐阜	24.4	(+1.2) +*	125.0	(56) -	10	201.7	(126) +*
高山	20.8	(+1.1) +*	126.0	(74) -	11	177.4	(124) +
津	23.5	(+0.8) +	192.5	(95) ○	11	195.8	(133) +*
上野	22.8	(+1.0) +	150.0	(77) -	8	191.5	(144) +*
尾鷲	22.7	(+0.8) +	355.0	(81) ○	10	165.6	(133) +*
四日市	22.6	(+0.9) +	204.0	(82) -	9	187.8	(127) +*
新湊	21.7	(+0.8) +	172.5	(142) +	9	181.8	(101) ○
相川	20.7	(+0.9) +	75.0	(61) ○	10	199.6	(112) +
高田	22.4	(+1.5) +*	48.0	(35) -*	11	179.0	(117) +
富山	23.3	(+1.9) +*	77.5	(45) -*	7	198.0	(129) +*
伏木	22.6	(+1.8) +*	70.5	(44) -*	7	210.9	(133) +*
金沢	23.4	(+1.8) +*	107.0	(63) -	9	231.8	(143) +*
輪島	21.6	(+1.6) +*	92.5	(59) -	10	209.0	(129) +

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	
福井	23.8	(+1.8) +*	83.0	(54) -	7	215.9	(147) +*	
	敦賀	23.6	(+1.5) +*	89.0	(62) -	7	191.0	(137) +*
彦根	23.4	(+1.6) +*	56.0	(32) -*	7	201.0	(130) +*	
京都	24.4	(+1.1) +*	125.5	(63) -	7	179.0	(134) +*	
	舞鶴	23.1	(+1.5) +*	109.0	(70) -	7	183.6	(135) +*
大阪	24.4	(+0.8) +	101.0	(55) -	8	213.4	(138) +*	
神戸	23.9	(+0.5) +	88.0	(50) -	8	200.9	(123) +	
豊岡	23.3	(+1.5) +*	116.0	(77) -	9	198.1	(143) +*	
姫路	23.2	(+0.8) +	72.5	(45) -*	5	203.0	(130) +*	
洲本	23.0	(+1.3) +*	83.5	(42) -	8	200.5	(126) +*	
奈良	23.8	(+1.6) +*	131.5	(71) -	8	190.9	(140) +*	
和歌山	24.0	(+0.8) +*	55.5	(30) -*	7	209.9	(133) +*	
	潮岬	22.4	(+0.3) +	343.5	(94) ○	11	144.5	(109) ○
岡山	23.9	(+1.2) +*	95.5	(56) -	6	193.2	(126) +*	
	津山	22.3	(+0.8) +	101.5	(55) -	7	161.3	(111) ○
広島	24.2	(+1.0) +*	99.0	(44) -*	9	185.6	(120) +	
	呉	23.4	(+1.0) +*	110.5	(51) -*	8	196.8	(126) +
	福山	23.4	(+0.9) +	83.5	(48) -	8	213.5	(131) +*
松江	23.4	(+1.7) +*	69.5	(40) -*	6	209.7	(133) +*	
	西郷	21.7	(+1.3) +*	61.0	(37) -*	5	196.0	(119) +
	浜田	23.0	(+1.6) +*	90.0	(49) -	6	202.7	(128) +*
鳥取	23.7	(+1.7) +*	87.5	(60) -	9	214.4	(139) +*	
	米子	23.8	(+2.0) +*	92.5	(55) -	6	214.6	(133) +*
	境	23.5	(+1.7) +*	71.0	(42) -	6	215.4	(133) +*
徳島	23.7	(+0.7) +*	89.5	(46) -*	7	204.1	(134) +*	
高松	24.2	(+0.9) +*	54.0	(35) -*	7	196.5	(124) +	
	度津	23.5	(+0.9) +*	50.5	(31) -*	7	206.3	(127) +*
松山	24.1	(+1.2) +*	101.0	(44) -*	8	202.8	(134) +*	
	宇和島	24.0	(+1.2) +*	105.0	(37) -*	9	183.7	(132) +*
高知	23.7	(+0.6) +	212.0	(59) -	12	148.2	(111) ○	
	宿毛	23.7	(+1.1) +*	194.5	(59) -	11	169.6	(126) +
	清水	23.5	(+0.5) +	374.0	(93) ○	11	153.7	(117) +
	室戸岬	21.8	(+0.3) +	367.0	(111) +	9	145.2	(110) ○
山口	23.7	(+1.1) +*	117.5	(42) -	9	171.6	(121) +	
	下関	23.6	(+1.1) +*	144.0	(57) -	10	187.6	(128) +
	萩	23.5	(+1.6) +*	87.0	(42) -	5	197.4	(142) +*
福岡	24.8	(+1.5) +*	138.5	(55) -	9	188.5	(130) +	
	塚	24.1	(+1.5) +*	179.0	(64) -	9	179.9	(131) +

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(℃)	(℃)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	23.7	(+1.1) +*	246.0	(78) ○	8	185.3	(137) +*
日田	24.1	(+1.1) +*	223.0	(63) -	10	166.9	(131) +
長崎	23.9	(+0.9) +	248.5	(74) -	11	166.4	(133) +
厳原	22.9	(+1.6) +*	173.0	(59) -	11	148.7	(109) ○
平戸	22.4	(+1.3) +*	183.5	(58) -	8	152.9	(122) +
佐世保	24.1	(+1.1) +*	171.5	(52) -	10	160.8	(125) +
雲仙岳	19.6	(+0.4) +	432.5	(75) ○	12	101.8	(108) ○
福江	22.9	(+0.8) +	295.0	(91) ○	11	134.9	(110) ○
佐賀	24.7	(+1.2) +*	228.5	(70) -	9	180.2	(137) +
熊本	24.6	(+0.9) +	237.5	(53) -	11	181.4	(139) +
人吉	23.1	(+0.7) +	469.5	(84) ○	14	137.8	(118) +
牛深	23.9	(+0.8) +	293.5	(72) -	12	170.1	(137) +
宮崎	24.2	(+1.0) +	378.5	(73) ○	14	164.4	(138) +*
延岡	23.4	(+0.9) +*	330.0	(78) ○	11	172.5	(138) +*
都城	23.4	(+0.7) +	364.0	(65) -	14	138.7	(135) +
油津	23.7	(+0.3) ○	402.5	(71) -	14	146.5	(134) +*
鹿児島	24.6	(+0.6) +	486.5	(85) ○	14	142.4	(130) +
阿久根	23.4	(+0.7) +	254.5	(56) -	15	178.5	(144) +*
枕崎	23.6	(+0.4) ○	359.0	(70) -	15	137.6	(126) +
屋久島	24.0	(+0.3) ○	1121.5	(130) +	18	132.9	(133) +*
種子島	24.3	(+0.3) +	563.5	(101) ○	14	136.1	(119) +
名瀬	26.3	(+0.1) ○	433.5	(101) ○	16	109.1	(94) ○
沖永良部	25.7	(-0.2) ○	363.5	(114) ○	15	149.4	(91) -
那覇	27.0	(-0.2) ○	495.5	(174) +*	17	128.9	(81) -
名護	26.7	(-0.2) ○	608.5	(209) +*	18	123.5	(81) -
久米島	27.3	(+0.1) ○	340.0	(111) ○	14	139.4	(88) ○
宮古島	27.9	(+0.2) +	244.0	(125) +	18	201.8	(105) ○
石垣島	29.0	(+0.6) +	220.5	(106) ○	16	212.2	(100) ○
西表島	28.5	(+0.7) +	163.0	(87) ○	15	193.6	(95) ○
与那国島	28.5	(+0.6) +	89.0	(55) -	12	196.2	(108) ○
南大東島	27.4	(+0.5) +	162.5	(81) ○	15	202.0	(92) ○

(注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「) や]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2022年6月

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「＝」で表す。

月平均気温の高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	金沢	23.4	+1.8	23.3 (1979)	1882	21.6
	富山	23.3	+1.9	23.0 (2020)	1939	21.4
	松江	23.4	+1.7	23.3 (2005)	1941	21.7
	境	23.5	+1.7	23.3 (2005)	1883	21.8
	米子	23.8	+2.0	23.4 (2020)	1939	21.8
	鳥取	23.7 =	+1.7	23.7 (2005)	1943	22.0
	萩	23.5	+1.6	23.2 (2020)	1948	21.9
	浜田	23.0 =	+1.6	23.0 (1894)	1893	21.4
	彦根	23.4 =	+1.6	23.4 (2020)	1894	21.8
	敵原	22.9	+1.6	22.6 (2020)	1887	21.3
	平戸	22.4 =	+1.3	22.4 (2020)	1940	21.1
	宇和島	24.0	+1.2	23.8 (2020)	1922	22.8
	宿毛	23.7	+1.1	23.5 (2020)	1943	22.6
2	輪島	21.6 =	+1.6	21.7 (1979)	1929	20.0
	伏木	22.6	+1.8	22.7 (1916)	1884	20.8
	高田	22.4	+1.5	22.7 (1979)	1922	20.9
	敦賀	23.6 =	+1.5	23.9 (1979)	1898	22.1
	名古屋	24.3	+1.3	24.6 (2020)	1891	23.0
	豊岡	23.3 =	+1.5	23.7 (2005)	1918	21.8
	下関	23.6	+1.1	24.0 (2005)	1883	22.5
	広島	24.2 =	+1.0	24.5 (2005)	1879	23.2
	洲本	23.0	+1.3	23.8 (2020)	1919	21.7
	奈良	23.8	+1.6	24.2 (2020)	1953	22.2
	福岡	24.8 =	+1.5	24.9 (2020)	1890	23.3
	飯塚	24.1 =	+1.5	24.2 (2020)	1936	22.6
	3	福井	23.8	+1.8	23.9 (1979)	1897
水戸		21.8 =	+1.5	22.4 (1979)	1897	20.3
岐阜		24.4 =	+1.2	24.6 (2020)	1883	23.2
伊良湖		23.0	+0.8	23.8 (2020)	1947	22.2
大島		21.9 =	+0.9	22.7 (2020)	1939	21.0
西郷		21.7 =	+1.3	21.8 (2020)	1939	20.4
舞鶴		23.1 =	+1.5	23.5 (2005)	1947	21.6
京都		24.4 =	+1.1	24.7 (2020)	1881	23.3
山口		23.7	+1.1	24.1 (2005)	1966	22.6
佐世保		24.1 =	+1.1	24.2 (2020)	1947	23.0
日田		24.1 =	+1.1	24.9 (2020)	1943	23.0
大分		23.7	+1.1	24.4 (2005)	1887	22.6
延岡		23.4 =	+0.9	23.9 (2005)	1961	22.5
牛深		23.9 =	+0.8	24.6 (2004)	1950	23.1
福江		22.9 =	+0.8	23.4 (2020)	1962	22.1
松山	24.1	+1.2	24.4 (2005)	1890	22.9	
高松	24.2 =	+0.9	25.2 (2005)	1942	23.3	

月平均気温の低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量の多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	旭川	189.0	265	149.6 (1904)	1889	71.4
	江差	244.0	310	229.4 (1956)	1941	78.6
2	浦河	272.5	284	273.0 (1974)	1927	95.9
	新庄	293.0	233	298.0 (2011)	1958	126.0
3	雄武	176.5	236	186.9 (1967)	1942	74.8

月降水量の少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	館野	45.5	35	42.0 (1996)	1921	131.8

月間日照時間の多い方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間の少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
2	網走	92.1	53	71.0 (1983)	1904	172.2
3	紋別	91.6	59	62.6 (1993)	1956	154.7

(注) 値の横に]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月15日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfest/>

